



6/12 誰もが憩える里山作りを目指して



第32回森林レクリエーション地域「美しい森づくり活動コンクール」において、「えんとつやま倶楽部」が、林野庁長官賞を受賞し、報告のため市役所を訪れました。

賞は積極的な森林整備や美化活動を行っている団体に贈られるもので、えんとつ山の森林・登山道の整備や、地元高校生や行政とのタイアップイベントなどが高く評価されました。

代表の直野菅男さんは「誰もが憩える里山づくりを目指して、これからも地域の人たちと一体となってえんとつ山の自然を守っていききたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

6/19 鯛を食べて産地を応援しよう



新型コロナウイルスの影響で、大きな打撃を受けている宇和島市の水産業を応援するため、養殖生産日本一である宇和島市の鯛を、食べて買って応援する産地応援企画「#鯛たべよう」の一環として、真鯛の販売が行われました。

販売に先立ち、岡原文彰宇和島市長が石川市長を表敬訪問。「既存のルートだけではなく、直接消費者の手元に届ける販路を開拓していきたい」と話すとともに、養殖真鯛のPRを兼ね、郷土料理「宇和島鯛めし」の試食提供を行いました。

6/19 差別解消を目指したシトラスリボン



県人権対策協議会新居浜支部から市教育委員会へ300個のシトラスリボンが贈呈されました。新型コロナウイルス感染症患者や濃厚接触者、医療従事者などへの差別解消を目指し、シトラスリボン運動が広がりを見せています。

5月29日から制作したという色とりどりのリボン。中には太鼓をモチーフにしたリボンもあります。制作に携わった大原奈津希さんと新川結奈さんは「他にも市内の小中学校や公民館などに配布予定。大人から子どもへ伝えてほしい」と微笑みました。贈呈されたリボンは今後さまざまなシーンでの活用が予定されています。

6/23 環境美化活動で地域の模範に！



長年、環境美化活動に取り組んでいるボランティア団体「夢遊友うずい」（川原修二会長）が、令和2年度の生活環境づくり活動功労者知事表彰を受け、報告のため市役所を訪れました。

同団体は22年前、目に余る不法投棄を食い止めようと発足。不法投棄ごみの撤去や河川敷の除草のほか、マス釣り大会やホテル祭りなどを開催し、住民の環境意識向上につなげています。

神野泰次事務局長は「皆さんが長年の活動を理解してくれたからこそ受賞できた。会員の高齢化が進んでいるが、この活動を若い人たちへ受け継いでいきたい」と頬を緩めました。